

# 九重町の2040未来予想図



● 「九重町第5次総合計画」の策定に向け、  
2040年頃に九重町が抱える問題や課題についてお知らせします。  
九重町の将来について、皆さんも一緒に考えてみませんか？



## 九重町第5次総合計画って？

総合計画は、九重町に住む皆さんが将来も幸せに安心して暮らしていけるように、九重町の10年間のまちづくりを計画するもので、まちづくりを進めていくうえで、最も基本的で大切な計画です。

令和3年度で現在の第4次総合計画の期間（10年間）が終わることから、九重町では新たに第5次総合計画の策定をすすめています。

## 2040年頃の問題や課題って？

皆さんは、「2040年問題」という言葉を聞いたことがありますか？ 日本では、少子高齢化問題が進んでいますが、2040年に特に深刻になるといわれています。そして、それらは将来的に私たちの生活にも大きく影響する可能性があることから、「2040年問題」といわれています。

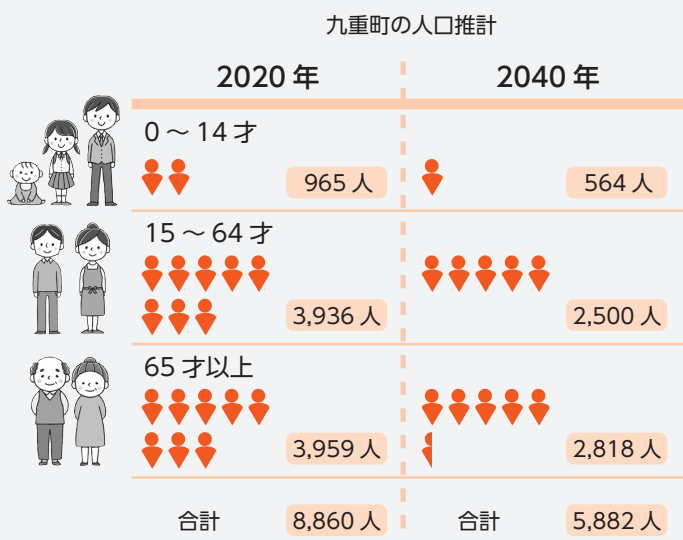
### ▶ 2040年ってまだまだ先のこと？

2040年といえば、現在30歳の方は50歳、現在20歳の方は40歳を少し超えたあたり。それほど遠い未来ではありません。

### ▶ 九重町の人口はどうなるの？

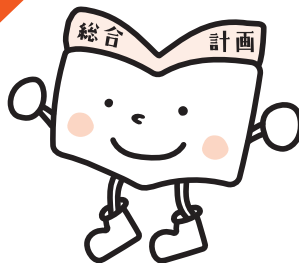
九重町の人口は、1町3村が合併して発足した1955年（昭和30年）の21,316人をピークに減少しています。2015年（平成27年）における国勢調査では9,645人となっています。

推計では、今後も人口減少は加速し、2040年（令和22年）には5,882人まで減少すると予想されています。



出典：「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所） ◆=約500人

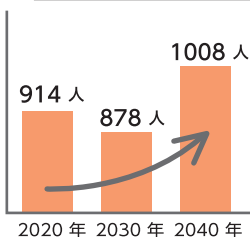
# は どうなるの？ にお答えします



## 03 医療・介護

### 2040年の高齢者は？

#### ③ 85歳以上の高齢者人口の推移



高齢者が増加し、医療費・介護ニーズが高まると予想されています

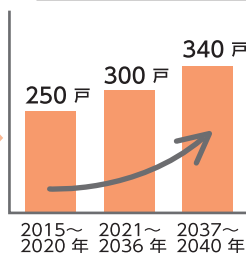
結果 医療・介護サービス不足

影響

## 04 空き家や土地

### 2040年の空き家は？

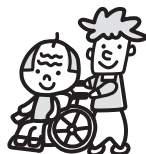
#### ④ 空き家増加数の推移



高齢化により、高齢者の福祉介護施設への入居等が増えると予想されています

結果 空き家の増加

### これからどうしたらいいんだろう？



例えば…

- 地域で介護予防に取り組んで、健康寿命を延ばしたり、高齢者の就労や社会参加をすすめる
- 医療や介護サービスの人材不足を補うための施策
- 災害発生時のために、地域で防災訓練をしたり、防災士を育成したりする

### これからどうしたらいいんだろう？



例えば…

- 空き家を減らすために、バンク制度の登録物件を増やして、移住者や家を探している人に住んでもらう
- 老朽化した空き家の倒壊等による2次被害を防ぐために解体にかかる費用の補助を検討する

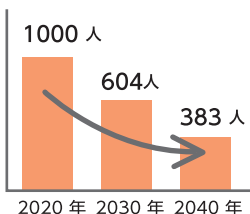
影響

影響

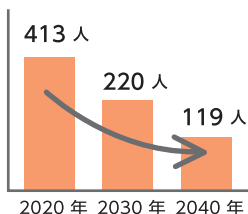
## 06 働く人（農業や観光など）

### 2040年に九重町で働く人は？

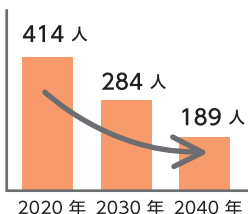
#### ⑤ 農業をする人



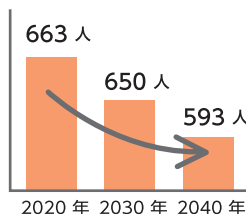
#### ⑥ 建設業で働く人



#### ⑦ 医療・福祉で働く人



#### ⑧ 宿泊施設や飲食店で働く人



高齢化により、各産業で働く人（担い手）不足が加速すると予想されています

結果 人材不足、人材確保の困難等

### これからどうしたらいいんだろう？

例えば…

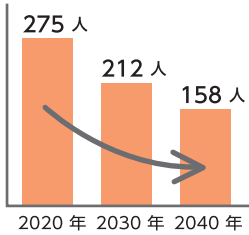
- 意欲ある担い手へ農地を集約することで、平均所得を増加させ、高齢化により耕作されなくなった農地を解消する



## 01 子育て

### 2040年の5歳未満の子どもは？

#### ① 5歳未満人口の推移



5歳未満の子ども的大幅減少が予想されています

結果 保育ニーズの減少

これからどうしたらいいんだろう？



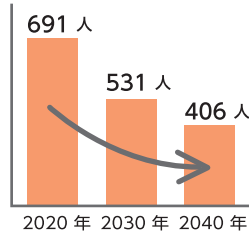
例えば…

- 出生数を増加させるために、子育て世代をターゲットに町内在住者を増加させる施策（移住・住まい・仕事など）をたくさんつくる
- 町立こども園で、特色のある取組（スポーツや英語教育など）を行い、子育て環境を充実させてPRしていく

## 02 教育

### 2040年の小中学校は？

#### ② 5歳～14歳人口の推移



1学年が7人程度になると予想されています  
（※町内での同級生41人を6小学校で割り戻した場合）

結果 複式学級の導入等

これからどうしたらいいんだろう？



例えば…

- 未来の担い手として、人材育成に力を入れていく
- 子どもたちが将来九重町にUターンしてくれるように、ふるさとを想う心や環境整備をしていく
- 小学校の適正規模を再検討する
- 教育のためだけの学校施設でなく、地域の防災・交流の場としての活用を検討する

## 05 インフラ・公共施設・公共交通

### 2040年の私たちの生活は？

インフラとは 生活を支える基盤で、道路や水道等のこと

町道の草刈り作業や地区水道の共同運用等、これまで出来ていた地域の取組が困難になることが予想されています

文化センター等の公共施設や道路・橋の6割が築30年以上になります

結果 建替え等の更新費用は、今後40年間で約654億円かかります。この更新費用は財政を圧迫し、新しい公共施設の整備等ができなくなります

これからどうしたらいいんだろう？

- 例えば…
- どのようにインフラや公共施設等を整備・更新していくかを検討する
  - 新しい道路をつくるのを少なくし、今ある道路も最低限の維持補修にする

子育て 教育 空き家・土地  
インフラ 医療・介護 労働力

2040年頃にやってくる九重町の問題と課題について  
知っていただけませんか？

ケーブルテレビで放送します！  
4月21日より九重ケーブルテレビの特別放送で詳しくご説明しますのでご覧ください

子どもたちや両親、  
地域の高齢者のためには  
どうしたらいいんだろう？

20年後の九重町がどうなっていくのかはわかったけど、九重町が元気にままだいるためには？

## 今後のまちづくりの方向性は？

人口増加を前提としてきたこれまでの制度や運用は、これからやってくる人口減少社会では、同じようにしても効果が発揮できない可能性が高い

インフラ（水道や道路等）や公共施設は、もうすぐ更新時期を迎えます。人口が減少していくなかで、どれを残してどのように活かしていくのか？「選択と集中」という言葉を、より考えて実現化し、人口減少社会を見据えた九重町にシフトしていくことも必要に。

問題や課題はたくさんですが...

**A 地域コミュニティの充実**

「住民との協働＝簡素で美しい田舎づくり」として進めてきた、地域コミュニティを充実させることで地域の絆を取り戻す。これにより、小規模自治体でありながらも、住民の皆さんの満足度を高めることが、持続可能で魅力的な九重町として存続するために必要。

**B コンパクトな町づくり**

加速化する高齢化・人口減少に加えて、居住エリアも広範囲に点在している九重町の特徴を踏まえ、行政効率（経済性）の観点からも地域の中心エリアに集住し、コンパクトで効率を重視した町づくりの推進が必要。

まずは、皆さまからのご意見をアンケートでお聞かせください

20年はあっという間です。今から一緒に九重町の将来について考えていきましょう

2030 2040